

受託・共同研究推進事業

1. 目的

森林技術センターが国、独立行政法人、地方公共団体、公益法人、大学もしくは公設試験研究機関、または林業・林産業界の団体もしくは企業等と受託研究、共同研究および受託調査を実施し、産業界の振興に寄与することを目的とする。

2. 受託研究事業

企業及び公益法人から研究を委託されて実施する研究事業。

課題名	概要	担当者	研究期間	委託元
ニホンジカ生息密度推定におけるカメラトラップ法と糞塊法の比較	糞塊法の調査地域においてカメラトラップ法による調査を実施し、RESTモデルにより生息密度を推定する。生息密度と糞塊密度の相関を把握することにより、糞塊密度の密度指標としての信頼性を評価するとともに、糞塊法の調査結果を用いた生息密度算出および個体数推定の可能性について検討する。	青山和口	R3～	(公財) 北村森林保護財団

ほか17件

3. 共同研究事業

森林技術センターが他機関と連携して実施する研究事業。

課題名	概要	担当者	研究期間	委託元
クマおよびシカによる人工林の樹皮剥ぎ被害防止資材の効果・性能に関する研究	ツキノワグマおよびニホンジカの樹皮剥ぎ被害が林業経営上の大きな問題となっているため、樹皮剥ぎ防止用に開発された資材について、被害防止の効果を検証し、また耐久性についても調査を実施した。	青山河合	H27～R3	信濃化学工業株式会社
半炭化処理木質舗装材の高度利用技術開発	半炭化処理による木質舗装材の試験施工後における劣化状況評価、施工コスト精査、及び製品の商業的価値を評価し、地域における半炭化処理木質舗装材の利用モデルを最適化する。	増田大久保岩本	H30～	(国研) 森林総合研究所など
保存処理木材の耐久性調査試験	当センター明日香実験林において、杭試験及びダブルレイヤー試験により、保存処理木材の耐久性を調査する。	増田清川大久保岩本	H23～	日本木材防腐工業組合

課題名	概要	担当者	研究期間	委託元
<p>寺社等を含む木造建築において伝統的外観を維持しつつ、耐震性・耐久性を飛躍的に向上させる木柱と地面の結合方法の開発</p>	<p>伝統的工法における堀立柱工法を対象に、その問題点である耐震性と耐久性を大きく改善し、加えて木柱の埋め込み長さの短縮をはかる接合方法の開発を行った。</p> <p>本工法を適用することで社寺建築物の新築等においても、伝統的外観や、空間の開放性を維持しながら建築基準法の定める強度を確保できる仕様を目指す。</p>	<p>岩本 柳川</p>	<p>R1～3</p>	<p>(公財) 奈良県地域産業振興センター</p>
<p>難燃化木質系材料の耐候性および難燃性評価に関する研究</p>	<p>品質の異なる難燃化剤を含浸させた木質系材料について、コーンカロリメータを用い発熱性試験を行い、短期的な難燃性能を評価した。また長期的な難燃性能を評価するため、各種処理材料を実際に使用する場面を想定した劣化処理を施した後に難燃性能を評価した。</p>	<p>清川 増田 大久保 岩本</p>	<p>R3</p>	<p>(国研) 産業技術総合研究所</p>